

第34号議案

平成30年度芦屋市病院事業会計予算

(総則)

第1条 平成30年度芦屋市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 病 床 数	199 床
(2) 年間入院患者数	64,642 人
(3) 年間外来患者数	85,400 人
(4) 1日平均入院患者数	177.1 人
(5) 1日平均外来患者数	350.0 人

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

	収 入
第1款 病院事業収益	5,290,012 千円
第1項 営業収益	4,913,017 千円
第2項 営業外収益	375,995 千円
第3項 特別利益	1,000 千円
	支 出
第1款 病院事業費用	5,635,308 千円
第1項 営業費用	5,424,603 千円
第2項 営業外費用	150,705 千円
第3項 特別損失	30,000 千円
第4項 予備費	30,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 495,270 千円は過年度損益勘定留保資金 467,909 千円及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額 27,361 千円で補填するものとする。）。

	収	入
第1款 資本的収入		531,748 千円
第1項 企業債		364,300 千円
第2項 出資金		167,448 千円
	支	出
第1款 資本的支出		1,027,018 千円
第1項 建設改良費		369,372 千円
第2項 企業債償還金		311,246 千円
第3項 他会計からの 長期借入金償還金		340,400 千円
第4項 投資		6,000 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
医療機器等購入	千円 364,300	証書借入	5.0%以内	起債年度から据置期間を含めて30年以内に償還する。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、500,000 千円と定める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第7条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

- (1) 職員給与費 3,159,664 千円
- (2) 交際費 60 千円

(他会計からの補助金)

第8条 営業補助のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、140,087 千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第9条 たな卸資産の購入限度額は、432,495 千円と定める。

平成30年2月20日提出

芦屋市長 山 中 健

平成30年度芦屋市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収益的収入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業収益			5,290,012	
	1 営業収益		4,913,017	
		1 入院収益	3,167,458	
		2 外来収益	1,084,580	
		3 その他営業収益	660,979	室料差額収益 公衆衛生活動収益 医療相談収益 一般会計負担金 その他営業収益
	2 営業外収益		375,995	
		1 受取利息	13	預金利息, 基金利息
		2 他会計負担金・補助金	287,273	一般会計負担金, 補助金
		3 補助金	3,450	国庫補助金
		4 患者外給食収益	42	
		5 長期前受金戻入	2,141	
		6 その他営業外収益	83,076	
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益修正益	1,000	

収 益 的 支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 病院事業費用			5,635,308	
	1 営業費用		5,424,603	
		1 給 与 費	3,159,664	給料, 手当, 法定福利費, 賞与引当金繰入額等
		2 材 料 費	906,407	薬品, 診療材料, 給食材料 及び医療消耗備品費
		3 経 費	780,975	診療に要する間接費用, 管 理に要する費用及び貸倒引 当金繰入額
		4 減 価 償 却 費	554,726	固定資産の減価償却費
		5 資 産 減 耗 費	8,319	固定資産の除却費
		6 研 究 研 修 費	14,512	
	2 営業外費用		150,705	
		1 支払利息及び 企業債取扱諸費	98,948	企業債, 長期借入金及び一 時借入金利息
		2 患 者 外 給 食 材 料 費	1,848	
		3 雑 損 失	28,987	
		4 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	20,922	
	3 特別損失		30,000	
		1 過 年 度 損 益 修 正 損	30,000	
	4 予 備 費		30,000	
		1 予 備 費	30,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

資 本 的 収 入

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的収入			531,748	
	1 企業債		364,300	
		1 企業債	364,300	医療機器等購入費に充当
	2 出資金		167,448	
		1 他会計出資金	167,448	企業債償還金, 備品購入費等に充当

資 本 的 支 出

(単位 千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
1 資本的支出			1,027,018	
	1 建設改良費		369,372	
		1 資産購入費	369,372	医療機器等購入費
	2 企業債償還金		311,246	
		1 企業債償還金	311,246	
	他会計からの 3 長期借入金 償還金		340,400	
		1 他会計からの長期借入金償還金	340,400	一般会計からの長期借入金償還金
	4 投資		6,000	
		1 長期貸付金	6,000	職員貸付金

平成30年度芦屋市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	千円
当年度純利益	△ 345,296
減価償却費	554,726
引当金の増減額 (△は減少)	58,839
長期前受金戻入額	△ 2,141
受取利息及び受取配当金	△ 13
支払利息	98,948
未収金の増減額 (△は増加)	△ 47,004
未払金の増減額 (△は減少)	34,099
その他	<u>16,646</u>
小計	368,804
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	<u>△ 98,948</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	269,869
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 615,572
貸付けによる支出	<u>△ 6,000</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 621,572
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	610,500
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 311,246
その他の他会計借入金の返済による支出	△ 340,400
他会計からの出資による収入	<u>167,448</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	126,302
資金増加額 (又は減少額)	△ 225,401
資金期首残高	<u>297,233</u>
資金期末残高	<u><u>71,832</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位 千円)

区 分	職 員 数 (人)		給 与 費					法 定 福 利 費	合 計	
	特別職	一般職	報 酬	給 料	賃 金	手 当	計			
本 年 度	損益勘定支弁職員	1	247(1)	443,209	978,418	176,803	1,181,310	2,779,740	379,924	3,159,664
	資本勘定支弁職員	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	1	247(1)	443,209	978,418	176,803	1,181,310	2,779,740	379,924	3,159,664
前 年 度	損益勘定支弁職員	1	236(1)	366,749	931,224	162,744	1,128,963	2,589,680	383,769	2,973,449
	資本勘定支弁職員	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	1	236(1)	366,749	931,224	162,744	1,128,963	2,589,680	383,769	2,973,449
比 較	損益勘定支弁職員	0	11(0)	76,460	47,194	14,059	52,347	190,060	△3,845	186,215
	資本勘定支弁職員	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合 計	0	11(0)	76,460	47,194	14,059	52,347	190,060	△3,845	186,215

() 内は、外書で短時間勤務職員数を表す。

(単位 千円)

区 分	扶養手当	地域手当	住居手当	通勤手当	特殊勤務 手 当	専門看護 手 当	時間外勤務 手 当	休日勤務 手 当	夜間勤務 手 当
	本年度	17,486	159,083	46,189	27,505	142,286	396	47,046	6,499
前年度	18,324	151,529	44,450	28,843	140,402	396	46,303	4,861	13,941
比 較	△838	7,554	1,739	△1,338	1,884	0	743	1,638	263

区 分	宿日直 手 当	管 理 職 手 当	管理職員特 別勤務手当	期末及び 勤勉手当	初任給調整 手 当	児童手当	賞与引当金 繰 入 額	退職給付費
	本年度	40,056	48,960	3,599	331,570	1,080	10,268	171,282
前年度	44,956	43,560	3,083	300,747	1,080	10,890	157,604	117,994
比 較	△4,900	5,400	516	30,823	0	△622	13,678	△4,193

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳	説 明	備 考
給 料	47,194	給与改定等に伴う増減分	2,141	人事院勧告に基づく給料表改定
		昇給に伴う増加分	3,909	平均昇給率 1.59%
		その他の増減分	41,144	職員数の変動等に伴うもの
手 当	52,347	給与改定等に伴う増減分	14,433	人事院勧告に基づく給与改定
		その他の増減分	37,914	職員数の変動等に伴うもの

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区 分		医 師 (医療職)	医療技術職 (医療技術職)	看 護 師 (看護職)	医療専門 事務職 (医療専門事務職)	事 務 職 (企業職)
30年1月1日 現 在	平均給料月額(円)	545,524	283,974	285,047	242,503	374,464
	平均給与月額(円)	1,114,049	406,484	439,812	381,308	608,640
	平均年齢(歳)	47.6	39.7	39.1	32.8	45.0
29年1月1日 現 在	平均給料月額(円)	515,152	290,338	297,805	234,220	410,925
	平均給与月額(円)	1,068,623	424,924	455,336	388,936	580,650
	平均年齢(歳)	46.0	39.4	38.5	32.7	46.3

短時間勤務職員を除く。

(2) 初任給

(単位 円)

区 分	医 師	医療技術職	看 護 師	医療専門事務職	事 務 職
高校卒				152,800	155,600
短大卒		174,800	206,100	164,100	
大学卒		185,000	221,900	180,800	185,200
6年卒	282,800	209,800			

区 分	国 の 制 度			一般会計の制度
	医 師	医療技術職	看 護 師	事 務 職
高校卒				155,600
短大卒		174,200	188,800	
大学卒		185,400	206,400	185,200
6年卒	246,400	207,800		

(3) 級別職員数

区分	医 師			医療技術職			看 護 師			医療専門事務職			事 務 職		
	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)	級	職員数(人)	構成比(%)
30年1月1日現在	医4	1	2.8	医技6	1	2.8	看6			医専6			企5	1	33.4
	医3	15	42.9	医技5	3	8.3	看5	9	6.3	医専5	1	7.2	企4	1	33.3
	医2	14	40.0	医技4	2	5.6	看4	3	2.1	医専4			企特3		
	医1	5	14.3	医技3	7	19.4	看3	17	12.0	医専3	1	7.1	企3	(1) 1	(100) 33.3
				医技2	22	61.1	看2	113	79.6	医専2	5	35.7	企2		
				医技1	1	2.8	看1			医専1	7	50.0	企1		
	計	35	100.0	計	36	100.0	計	142	100.0	計	14	100.0	計	(1) 3	(100) 100.0
29年1月1日現在	医4	1	3.0	医技6	1	2.9	看6			医専6			企5	1	25.0
	医3	13	39.4	医技5	3	8.6	看5	9	6.1	医専5			企4	2	50.0
	医2	14	42.4	医技4	2	5.7	看4	3	2.0	医専4	1	10.0	企特3		
	医1	5	15.2	医技3	7	20.0	看3	17	11.5	医専3	1	10.0	企3	(1) 1	(100) 25.0
				医技2	20	57.1	看2	119	80.4	医専2	4	40.0	企2		
				医技1	2	5.7	看1			医専1	4	40.0	企1		
	計	33	100.0	計	35	100.0	計	148	100.0	計	10	100.0	計	(1) 4	(100) 100.0

() 内は、外書で短時間勤務職員を表す。

標準的な職務内容	級	医 師	級	医療技術職	級	看 護 師	級	医療専門事務職	級	事 務 職
	医4	病院長	医技6	部長	看6		医専6		企5	局長
	医3	副病院長 診療局長 センター長 科部長 科次長	医技5	科長 技師長 課長	看5	看護部長 副看護部長 看護師長 課長	医専5	課長	企4	課長
	医2	主任医長 医長	医技4	科長補佐 技師長補佐 主席主査 主席主任	看4	看護師長	医専4	課長補佐	企特3	
	医1	副医長 医員	医技3	主査	看3	副看護師長	医専3	主査	企3	主査
			医技2	技師	看2	看護師	医専2	主事	企2	
			医技1	技師補	看1		医専1	主事補	企1	

(4) 昇給

区 分		全 職 種	医 師	医療技術職	看 護 師	医療専門 事務職	事 務 職	
本 年 度	職 員 数 (A) (人)	247	38	37	155	13	4	
	昇給に係る職員数(B) (人)	233	36	32	148	13	4	
	号給数内訳	2号給	7	7				
		3号給	18	1	3	14		
		4号給	206	26	29	134	13	4
		5号給	2	2				
比 率 (B)/(A) (%)	94.3	94.7	86.5	95.5	100.0	100.0		
前 年 度	職 員 数 (A) (人)	236	34	37	150	11	4	
	昇給に係る職員数(B) (人)	225	34	32	144	11	4	
	号給数内訳	2号給	5	5				
		3号給	7		3	4		
		4号給	212	29	29	140	10	4
		5号給	1				1	
比 率 (B)/(A) (%)	95.3	100.0	86.5	96.0	100.0	100.0		

短時間勤務職員は除く。

(5) 特殊勤務手当

区 分	全 職 種	医 師	医 療 技 術 職	看 護 師	医療専門 事務職	事 務 職
給料総額に対する比率 (%)	19.3	46.7	2.1	13.3	0.3	0.0
支給対象職員の比率 (30年1月1日現在) (%)	79.1	100.0	55.6	87.3	21.4	0.0
支給対象職員 1人当たり 平均支給月額 (円)	78,686	247,708	10,789	43,739	3,892	0
代表的な特殊勤務手当の名称	夜間看護, 病棟勤務, 医師特別調整, 非常作業, 救急入院					

(6) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の 級等による加算措置
	6月(月分)	12月(月分)		
本 年 度	(1.075) 2.125	(1.225) 2.275	(2.300) 4.400	有
前 年 度	(1.050) 2.075	(1.200) 2.225	(2.250) 4.300	有
本 年 度 一般会計の制度	(1.075) 2.125	(1.225) 2.275	(2.300) 4.400	有

() 内は、短時間勤務職員の支給率

(7) 定年退職及び定年前早期退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最高限度 (月分)	その 他 の 加算措置等
支 給 率 等	25.55625	34.5825	49.59	49.59	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)
一般会計の制度 (支給率等)	同				

(8) その他の手当

区 分	一般会計の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同	—
地 域 手 当	異	医師職 16%
住 居 手 当	同	—
通 勤 手 当	同	—

平成30年度芦屋市病院事業予定貸借対照表（当年度分）

（平成31年3月31日）

（単位 千円）

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1) 有形固定資産			
	ア 土 地		41,193	
	イ 建 物	8,081,063		
	減価償却累計額	<u>△3,745,589</u>	4,335,474	
	ウ 器 械 備 品	2,333,038		
	減価償却累計額	<u>△1,366,010</u>	967,028	
	エ 車 両	213		
	減価償却累計額	<u>0</u>	<u>213</u>	
	有形固定資産合計			5,343,908
	(2) 投 資			
	ア 長期貸付金		21,947	
	イ 基 金		<u>37,040</u>	
	投資合計			<u>58,987</u>
	固定資産合計			5,402,895
2	流 動 資 産			
	(1) 現金・預金		71,832	
	(2) 未 収 金		592,953	
	貸倒引当金		<u>△8,267</u>	584,686
	(3) 貯 蔵 品			<u>29</u>
	流動資産合計			<u>656,547</u>
	資 産 合 計			<u>6,059,442</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1)	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	6,220,644	
(2)	他 会 計 借 入 金	2,751,810	
(3)	退 職 給 付 引 当 金	<u>851,863</u>	
	固 定 負 債 合 計		9,824,317

4 流 動 負 債

(1)	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	274,239	
(2)	他 会 計 借 入 金	340,400	
(3)	未 払 金	411,717	
(4)	賞 与 引 当 金	171,282	
(5)	その他流動負債	<u>20,843</u>	
	流 動 負 債 合 計		1,218,481

5 繰 延 収 益

(1)	長 期 前 受 金	57,409	
	長期前受金収益化累計額	<u>△40,971</u>	
	繰 延 収 益 合 計		<u>16,438</u>
	負 債 合 計		11,059,236

資 本 の 部

6 資 本 金

7,537,212

7 剰 余 金

(1)	資 本 剰 余 金		
	ア 受贈資産寄附金	<u>14,800</u>	
	資 本 剰 余 金 合 計		14,800
(2)	利 益 剰 余 金		
	ア 当年度未処理欠損金	<u>12,551,806</u>	
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>△12,551,806</u>
	剰 余 金 合 計		<u>△12,537,006</u>
	資 本 合 計		<u>△4,999,794</u>
	負 債 資 本 合 計		<u>6,059,442</u>

注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産（リース資産を除く。）

(ア) 減価償却の方法

定額法

(イ) 主な耐用年数

建物	15年～39年
器械備品	2年～15年
車両	2年～7年

(2) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当の要支給額に相当する金額を計上している。なお、他会計が負担すると見込まれる金額を除き、病院事業会計が負担すると見込まれる金額を計上している。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。また、職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費相当額について、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を賞与引当金に含めて計上している。

ウ 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定貸借対照表等関連

(1) 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は3,247,442千円である。

(2) 引当金の取崩し

ア 退職給付引当金の取崩し

平成 30 年度において、退職手当として 67,978 千円を支給する見込みであるため、退職給付引当金 67,978 千円を取り崩している。

イ 賞与引当金の取崩し

平成 30 年度において、職員の期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金 131,616 千円を取り崩している。また、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、賞与引当金に含めて計上している法定福利費相当額 25,293 千円を取り崩している。

ウ 貸倒引当金の取崩し

平成 30 年度において、不納欠損による損失として 3,117 千円を計上する見込みであるため、貸倒引当金 3,117 千円を取り崩している。

3 セグメントの情報の開示

芦屋市病院事業では、病院事業の単一セグメントであるため、記載を省略している。

4 減損損失

(1) グルーピングの方法

病院事業に使用している固定資産については、すべての資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を 1 つの資産グループとしている。

(2) 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用途	資産の種類	所在地
病院事業	土地、建物、器械備品、車両	芦屋市朝日ヶ丘町

病院事業の業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候が生じている。

なお、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

5 リース契約により使用する固定資産

(1) リース取引の処理方法

リース料総額が 300 万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が 300 万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

平成29年度芦屋市病院事業予定損益計算書（前年度分）

（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位 千円）

1 営業収益			
(1) 入院収益	2,818,675		
(2) 外来収益	1,045,012		
(3) その他営業収益	<u>640,976</u>	4,504,663	
2 営業費用			
(1) 給与費	3,052,506		
(2) 材料費	863,172		
(3) 経費	788,303		
(4) 減価償却費	606,011		
(5) 資産減耗費	2,503		
(6) 研究研修費	<u>13,520</u>	<u>5,326,015</u>	
営業損失			821,352
3 営業外収益			
(1) 受取利息	13		
(2) 他会計負担金・補助金	281,173		
(3) 補助金	3,233		
(4) 患者外給食収益	51		
(5) 長期前受金戻入	4,357		
(6) その他営業外収益	<u>77,744</u>	366,571	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	104,797		
(2) 患者外給食材料費	1,920		
(3) 雑損失	27,768		
(4) 消費税及び地方消費税	<u>21,325</u>	<u>155,810</u>	<u>210,761</u>
経常損失			610,591

5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>1,000</u>	1,000	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>30,000</u>	30,000	
7 予備費			
(1) 予備費	<u>30,000</u>	<u>30,000</u>	<u>△59,000</u>
當年度純損失			669,591
前年度繰越欠損金			11,536,919
當年度未処理欠損金			<u>12,206,510</u>

平成29年度芦屋市病院事業予定貸借対照表（前年度分）

（平成30年3月31日）

（単位 千円）

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
	(1) 有形固定資産			
	ア 土 地		41,193	
	イ 建 物	8,081,063		
	減価償却累計額	<u>△3,331,590</u>	4,749,473	
	ウ 器 械 備 品	1,842,536		
	減価償却累計額	<u>△1,342,034</u>	500,502	
	エ 車 両	213		
	減価償却累計額	<u>0</u>	<u>213</u>	
	有形固定資産合計			5,291,381
	(2) 投 資			
	ア 長期貸付金		24,274	
	イ 基 金		<u>37,040</u>	
	投資合計			<u>61,314</u>
	固定資産合計			5,352,695
2	流 動 資 産			
	(1) 現金・預金		297,233	
	(2) 未 収 金		545,949	
	貸倒引当金		<u>△9,624</u>	536,325
	(3) 貯 蔵 品			<u>29</u>
	流動資産合計			<u>833,587</u>
	資 産 合 計			<u>6,186,282</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1)	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	5,884,385	
(2)	他会計借入金	3,092,210	
(3)	退職給付引当金	<u>806,040</u>	
	固定負債合計		9,782,635

4 流 動 負 債

(1)	建設改良費等の財源に 充てるための企業債	311,244	
(2)	他会計借入金	340,400	
(3)	未払金	377,618	
(4)	賞与引当金	156,909	
(5)	その他流動負債	<u>20,843</u>	
	流動負債合計		1,207,014

5 繰 延 収 益

(1)	長期前受金	57,409	
	長期前受金収益化累計額	<u>△38,830</u>	
	繰延収益合計		<u>18,579</u>
	負債合計		11,008,228

資 本 の 部

6 資 本 金

7,369,764

7 剰 余 金

(1)	資本剰余金		
	ア 受贈資産寄附金	<u>14,800</u>	
	資本剰余金合計	14,800	
(2)	利益剰余金		
	ア 当年度未処理欠損金	<u>12,206,510</u>	
	利益剰余金合計	<u>△12,206,510</u>	
	剰余金合計		<u>△12,191,710</u>
	資本合計		<u>△4,821,946</u>
	負債資本合計		<u>6,186,282</u>